



九中だより

令和5年6月15日(木)

第3号

立川市立立川第九中学校 校長 敦澤 雅規

TEL042-535-1415 Fax042-534-6958

教育目標 やさしく・かしこく・たくましく

【体育祭】

校長 敦澤 雅規

5月27日(土)、前日の曇天から打って変わっての青空の下、令和5年度第44回体育大会を開催しました。昨年度同様、密集する学年種目は見合わせましたが、例年に近い形での内容です。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、ご来賓、地域の方々もお呼びして、昼食を挟んで午後3時頃まで実施しました。保護者の方々には、575名の皆様にご参観をいただきました。受付や駐輪場の整備等もやっていただき、大変助かりました。ありがとうございます。また熱中症対策として、生徒席にテントを設置しました(9張)。このテントの撤収に保護者のご協力をお願いしたところ、何と30名以上の方々が協力してくださり、大変助かりました。本当にありがとうございます。近隣の皆様には連日、放送等でご迷惑をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力により無事に体育大会を終えることができました。心より感謝申し上げます。



生徒たちは、「初志貫徹」～限界を超えて駆け抜けろ～のスローガンのもと、体育大会実行委員やダンスリーダーを中心に準備や練習を前向きに取り組みました。特に随所で発揮された3年生のリーダーシップは素晴らしかったです。その一方、コロナ禍でマスク生活が3年以上続く中、熱中症予防の観点から競技中・演技中はマスクを外すよう対応したことで戸惑い等もあったかと思いますが、生徒も教職員も細心の注意を払ったおかげで幸いにも熱中症による事故が発生することはありませんでした。

本校の体育大会の良いところは、学級や学年で力を発揮し合うことはもちろんですが、応援席が物語っているように、縦割りの色別で競い合い、先輩が後輩を、後輩が先輩を応援し合うところです。他のクラス・色、学年にもエールを送ったり拍手をする場面がたくさんありました。また競技なので勝敗はつきますが、差がついても決して手を抜かずにゴールまで全力で走りきる姿が随所に見られ、感動的な体育大会となりました。勝ち負け以上に大切なものを、本校の生徒たちは手にできたのではないかと思います。



体育大会を含む「特別活動」では、【さまざまな集団活動に生徒一人ひとりが活躍できる場や機会を意図的に設け、達成感や成就感を体感することで自己有用感や自己肯定感を持たせ、自他を大切に、互いに支え高め合う「共に学ぶ集団」としての支持的風土の形成を図る】(学校経営計画より)ことを目的として実施しています。

す。ちょっと堅苦しいですが、つまりは同学年の仲間や異年齢集団での活動を通して、よりよい人間関係を築く力や他者を受け入れる寛容な精神を養うこと、社会性の育成を図ることで、予測困難な時代も力強く生きていく力を身につけさせたいと思います。引き続きこれからも本校の取組へのご理解とご協力をお願い申し上げます。